



児童が水ろ過に挑戦

幸区の
企業訪問 環境負荷軽減学ぶ

川崎市の「環境教育等に係る体験の機会のある場」に本年度認定された水循環ろ過装置製造会社「シヨウエイ」

（幸区新川崎）が三十日、多摩区の市立稲田小学校の五年生約三十人に、屋上緑化をはじめ社の環境への取り組みを紹介した。

同社は市建築物環境配慮制度で、市内で九企業しかない最高のSクラスを取得している。「環境に関する仕事をしているので、環境への負荷軽減に貢献したかった」と辻永社長（み）。水の大切さを子どもたちに知ってもらうと認定を受け、今回初めて見学を受け入れた。

砂を入れた装置で濁り水のろ過実験に挑戦した児童らは、みるみる透明になる水に「ここまできれいになるな

なんてすごい」。辻社長は「社員のモチベーションも上がる。どんどん小中学生が見学に来てくれるとうれしい」と話していた。

（平木友見子）